



旭市

第25号
2012年1月10日

社協だより

編集発行
社会福祉法人
旭市社会福祉協議会
旭市横根3520番地
TEL. 0479(57)5577
FAX. 0479(57)2836
URL <http://www5.plala.or.jp/asahisi-syakyo/>
e-mail: asahi-shakyo@cpost.plala.or.jp



第7回社会福祉大会を開催しました



地域の福祉活動に功労があった、個人、
団体に対して、顕彰を行いました。
受賞者の皆さまおめでとうございます。



ふれあいとささえあいの
心豊かな社会福祉

新年のごあいさつ



旭市社会福祉協議会

会長 埴 政美

2012年の新年を迎え、謹んで新年のごあいさつを申し上げます。

旭市社会福祉協議会は、市民の皆さん、福祉関係諸団体の皆さん、そして、旭市の力強いバックアップ等々、多くの皆さんに支えられて、旭市社会福祉協議会の諸活動が進められております。

昨年3月11日には、未曾有の災害である東日本大震災により、旭市も甚大な被害をうけ、貴重な人命を失いました。この教訓を風化させず、旭市社会福祉協議会でも、災害ボランティアセンター設立・実施で得た経験を生かし、今後の糧として災害に強い福祉のまちづくりも視野に入れた活動を展開していきたいと思えます。

また、昨年11月26日には、第7回旭市社会福祉大会を東総文会館に於いて多くの来賓の皆さんや市民の皆さんもご参加をいただいで無事に開催いたしました。式典では、今年度顕彰者として、市長表彰2名、市長感謝状1団体、会長表彰は、役員功労6名、ボランティア功労7名、篤志寄付功労個人1名と4団体。会長感謝状は役員功労1名、篤志寄付功労個人5名と7団体、永年介護賞1名の表彰が行われました。さらに、市内の小中学校の福祉作文の入賞者の表彰と最優秀作文の発表も行われました。今年の記念講演には、女優の久里千春さんをお迎えして、「一輪の花のように健康で自分らしく」をご自身の体験談を含めてお話し下さいまし

た。特に、壇上から降り熱弁して下さいたことに、私自身も感激いたしました。

さて、新しい年を迎えて、今日の旭市社会福祉協議会を取り巻く情勢は、さらに厳しさを増しております。日本経済は長引く不況の状況にあります。また、災害復興という最大懸案事項があります。このような情勢は、高齢者や障害者の生活を、そして医療や介護活動に大きな負担を強いるようになってきております。それだけに、地域福祉を担う社会福祉協議会の諸活動への期待が高まっております。

旭市には、地区に地区社会福祉協議会が設けられており、多くの活動が取り組まれております。平成22年度から取り組まれてきた「地域福祉フォーラム」は、昨年度3地区スタートし、次いで新たな地域でも取り組まれてきています。そしてこれらの諸活動の中心的な役割を担っているのが、地区社会福祉協議会や多くのボランティア、多くの市民の参加する協働です。行政や関係機関との連携をさらに強めながら「健やかでやすらぎのあるまちづくり」に向け、協働して進めて参ります。第7回

旭市社会福祉大会に於いて確認された3項目の重点目標を軸として取り組んでいきます。すなわち、①住みなれた地域で、誰もが安心して暮らしていけるよう地域福祉の充実に努める。②市民総参加による、自助・共助のネットワークづくりに努める。③地域をあげて、福祉教育やボランティア活動の推進に努める。

これらを推進していくには、多くの市民の皆さんや、関係する多くの諸団体、行政機関などのご協力あってこそであります。そのためには、役員が先頭になって諸課題に積極的に取り組んでいきます。特に本年度は平成24年度からスタートする地域福祉活動計画の改定作業を実施しております。

結びにあたり、旭市の災害復興と市民の皆さまの益々のご健勝ご多幸を祈念いたしました。新年のごあいさつといたします。



地域福祉の貢献に晴れの受賞

―第7回旭市社会福祉大会を開催―

平成23年11月26日、東総文化会館大ホールで、第7回旭市社会福祉大会を開催しました。大会には、市内福祉関係者や市民の方々が参加。地域福祉に貢献された方々へ市長及び社会福祉協議会長から表彰状、感謝状が贈られました。また、市内小中学生の福祉作文入賞者の表彰、最優秀作文の発表、講演が行われました。
受賞された方々は次のとおりです。(敬称略)

市長表彰

高野 丈夫 / 赤座道之助

市長感謝状

日蓮宗千葉県東部宗務所

会長表彰

◇役員功労

嶋田 幸江 / 石丸 康寛

嶋田えい子 / 高木 静枝

大湊 光子 / 永嶋 和子

◇ボランティア功労

若梅木乃江 / 加瀬 なを

伊藤美紗子 / 浪川 こう

加藤 勲 / 藤代美恵子

◇篤志寄付功労

磯村 道子 / 合同歌謡会
天神山桜祭実行委員会



市長表彰を受領する赤座道之助さんと高野丈夫前旭市社協会長

旭市美術協会
旭市文化協会



壇上より下り講演をする
久里 千春 先生

会長感謝状

◇役員功労

山田 尚

◇篤志寄付功労

高埜美津子 / 高野トシ子

高野 丈夫 / 岡野 宏

山口のり子 / 旭市商工会

女性部飯岡支部・銚子青色

申告会飯岡地区会女性部

日華化学株式会社

あさひ舞踊会

ハーレーダビットソンモーターサイクルクラブ ZER

ONE MC

旭市文化協会芸能部
朝日新聞飯岡愛読者の方々
歌謡旭クラブ



受付を手伝う
地域のボランティアの皆さま

永年介護賞

菅井 新作

社会福祉作文入賞

◇最優秀

高木 梓沙 / 立山 育実

◇優秀

柴山 奈々 / 岩瀬帆乃華

寺田 百花 / 遠藤 太門

◇佳作

齋藤 響 / 早川 実紗

小林 陸 / 高橋 京也

菅谷 梨乃 / 木内 大輝

菅谷 真帆 / 関 耕太郎

柳 彩 / 鈴木 美稀

宮員 和夏

福祉作文を紹介します

小学生の部

「助け合えば」

旭市立萬歳小学校 第6学年

高木 梓 沙 さん

私は、「旭中央病院シルバークアセンター」で、職業体験をさせていただきました。

そこでの体験は、主に、お年寄りのみなさんとの交流です。お茶を入れて、いっしょに、おしゃべりをしたり、車イスを押して、リハビリ施設や、おふろに行ったりしました。



働いている所員の方々は、とても元気に、明るく、お年寄りのみなさんに接していました。

お世話のし方も、とてもてきぱきと行っていて、すごいと思いました。

そして、私がおどろいたことは、お年寄りのみなさんが、どんな時でも、笑顔だということ です。

私も、実際にリハビリを体験してみました。小学六年生の私でも、辛いほどでした。

ましてや、病気をもっていたり、けがをしたりしているお年寄りのみなさんは、もっと辛くて、大変なはず。それなのに、いつでも笑顔でした。

私は、どうして、こんなに笑

顔でいられるのか、考えてみました。

それは、みなさんが、早く治ることを願って、それを信じているから、どんなリハビリも、がんばれるのではないのでしょうか。

そして、何より、お年寄りのみなさんにいつも接している、所員の方々の支えがあるからこそ、リハビリ生活を苦に思わないのではないかと思います。

さらにおどろいたことには、私がお茶を運んだり、車イスをおしてあげたりするだけでも、お年寄りのみなさんは、何度も、「ありがとう。」

と、言ってくれたことです。私達にとっては、少しのことでも、お年寄りのみなさんにとっては、すごくありがたいと思ってくることがよくわかりました。

このように、半日だけの、職業体験でしたが、お年寄りのみなさんは、所員の方々だけでなく、私達にも、感謝の気持ちを示してくださる、私達でも、役に立てることがわかってうれし

かったです。

そして、職業体験の後、日常生活の中で、だれかを助けることは、たくさんできることに気がつきました。

大震災の後、被災地まで足を運び、ボランティア活動をしている人達もたくさんいます。

でも、助けてあげたいと思っ
ていても、実際に会って、お手
伝いをするのがむずかしい人
達もたくさんいます。私も、そ
の一人です。そんな私達にでき
ることといえば、ぼ金や、節電
などです。この二つは、やろう
と思えば、だれにでもできるこ
とです。今は、この活動を中心
に、日本が一つになっている感
じがします。一人一人の力が小
さくても大勢が助け合えば、東
日本に残された、大きな傷跡が
消えるのも、そう遠くはないは
ずです。

私は、これからも、人を助け、
助けてもらいながら、生きてい
きたいと思います。

「福祉の一步は家族から」

旭市立飯岡中学校 第1学年

立山 育実 さん



僕の名前は『育実』です。母のお腹の中にいる時から家族みんなまで考えて、誕生を待っていてくれました。この名前には、体も心も健やかに育ち、やがて

は自分の力でたくさんの人を幸せにできるような子に育ってほしいとの願いが込められているそうです。『いくみ』と読むので女の子に間違われたりもするけれど、いろいろな愛称で呼ん

でもらえると周りの友達や大人の人達からも親しみを感じるこ
とができるし、自分自身が受け
入れられているといった感じを
受けます。

母がよく教えてくれるのは、
言葉には力があって、使い方一
つで人を励ますことも、傷つけ
ることもできるということです。
相手を思う気持ちがあるま言
葉に表れるから、ごまかしなど
きかず、また、鉛筆で書いた文
字を消しゴムで消すような簡単
な事ではないと言います。それ
は、社会においての人間関係や
家族間でも同じで、相手の一言
から、心の奥に隠された気持ち
を察して行動できるかどうかで
結果が全く変わるといいます。

例えば、僕たち家族の誰かが

イライラしているように見えた
時に声をかけてみて「うるさい
なあ」「別に」等の返事が返っ
てきたとします。そんな時、母
はしばらく様子をみます。どう
してすぐに注意をしないのかと
不思議に思います。

やりが必要なのです。
学校や会社の中にある言葉の
いじめや、家族間の言葉の暴力
も思いやりのなさが原因です。
それが後を絶たずニュースにま
で発展しているのが現代社会で
はないでしょうか。

すると、なぜ注意しないのか
と僕の中に考える時間(想像力)
が生まれるからもつと不思議で
す。以前、『言葉のキャッチボ
ール』について学習したことが
あります。『言葉のキャッチボ
ール』とは、相手と言葉を交わ
すことで心を伝えたり、受けと
ったりすることです。僕も友達
と話をしている時に、「えっ、何
でそんなこと言うの」とか「ま
ずいこと言っちゃったかなあ」
と思いたる経験があるので、
これが母の言う『言葉の力』な
んだと良く分かります。うわべ
だけで会話をすることは簡単か
もしれませんが、そこに真心が
無かったら、どんなにつくろつ
ても相手に気づかれてしまうの
です。つまり、会話には、思い

では、人間に『思いやり』が
無くなるとどうなるのでしょうか。
最近の少年犯罪は、体力的に見
て自分に反撃できない弱い存在
ばかりをねらっています。動物
虐待も同じです。加害者達は自
分が負けそうな相手には決して
手を出しません。その姿には
『野生の動物』を感じさせます。
『野生の動物』は、力のある
リーダーが中心となって集団化
します。決して、友情や思いや
りで結びついたものではありません。
僕達の社会もそれに似て
きています。
数の力が物言う社会は、少数
派になるのに、覚悟や勇気が必
要です。そうになると、自分の本
心を抑えてでも仲間に入って、
自分自身を守ろうとします。そ

の仲間に入っていて気になる事は、いざという時に助けてもらえる関係かどうかです。友情や思いやりとは程遠い世界と分かっているのに、離れたら何をされるか分からないという不安が、さらに、悪い関係を深めていきます。

けれど、自分を大切にしてくれて、理解してくれる、そして、いざとなったら全力で守ってくれる存在がいたら、きっと現実には変わるはずです。僕にとつてその存在は、家族から注がれる愛情と、家族からの学びだと思っています。

七人家族の僕の家は、毎日いろいろな会話で溢れています。祖父との野球の話や、祖母との昔話。もちろん、姉や妹や僕も学校での出来事や悩みを話します。すると、まず先頭をきつていろいろと話を聞いてくれるのが母です。そして、解決につながる物の考え方や捉え方を話してくれます。また、話していると、先回りをして僕達の事を考

えてくれるのが会話から心に伝わってきて、安心もします。

忙しい母に、僕達の事を考える時間ができるのは、祖父と祖母の協力のおかげです。掃除・洗濯・食事の準備・学校の迎えを一生懸命手伝ってくれます。つまり、母だけの力で僕は支えられているのではなく、家族全員の力によって支えられて心も体も成長しているのです。

福祉というと、ボランティア活動を思い浮かべる人が多いかもしれませんが、けれど、それが心の伴わない活動だとしたら、悲しい活動になってしまいます。福祉の基礎は一人一人の心の中にあります。自己満足ではなく、相手の立場に立って考え、行動できた時が真の福祉です。その大切な内面を育んでくれているのが家族なのです。

僕は将来、『育実』に込められた家庭の愛に応えていくことが望みです。

受賞おめでとございます

平成23年11月14日、千葉県文化会館で第61回千葉県社会福祉大会が開催され、旭市から次の方々が表彰されました。（敬称略）

◆千葉県知事表彰

椎名勝之／林ミオ子

◆千葉県知事感謝状

土屋千恵子／加島信子

◆千葉県社会福祉協議会会長表彰

林順正／吉沢喜夫／中西裕／伊藤泰三郎／石毛敦子
 濤川洋子／飯島菊枝／向後弘子／土屋昌子／薄田悦子
 林春子／佐賀井眞知子／大割紀幸／五木田日女子／伊藤あけみ
 中曽根才智／白井英子／仲條真弓／菅谷文江

◆千葉県共同募金会会長表彰

東3区／塙西区／椎名内西町区／椎名内仲町区／瀬道区／広原西区

◆千葉県共同募金会会長感謝状

平野九造／高野トシ子／旭市老人クラブ連合会

わがまちの地区社協（ちくしゃきょう） 今回は「中央地区社会福祉協議会」の紹介です

中央地区は、旭市の中央に位置し、旭駅を中心として14区、約3,800世帯が在住しており、市内でも一番広く、多い人口を抱えております。中央地区社会福祉協議会は、前身となる旭市社会福祉協議会中央地区支会として地域の諸問題について取り組んでまいりました。現在区長、民生委員・児童委員、主任児童委員、保護司、障害者代表、老人クラブ、保健推進員、母子寡婦福祉会、学識経験者、福祉経験者、ボランティア、行政経験者からなる58名の委員によって、理事、評議員、幹部会を組織し活動を展開しております。主な事業として、高齢者地域ふれあい交流事業、児童遊園の遊具点検と見回り、高齢者ゲートボール大会・グラウンドゴルフ大会の開催、一人暮らし高齢者訪問、研修会・発表会など、幅広く事業を展開しております。今後の展望として、現在旭市社会福祉協議会で推進している小域地域福祉フォーラムの設置を目標として取り組んでいる最中です。今後とも、中央地区の皆様とともに歩める中央地区社会福祉協議会として活動予定です。



11月10日にスポーツの森公園で開催されたグラウンドゴルフ大会の様子です。当日は60名の参加があり、皆様元気にプレーを楽しんでおりました。

会費を随時募集しております

◆賛助会員

年会費3,000円（一口）

社会福祉協議会活動に賛同をいただいている個人・各種団体から協力をいただいております。

◆特別会員

年会費3,000円（一口）

市内の法人や事業所からご協力いただいております。

※ご協力いただける方は本所（57-5577）
・旭支所（64-2570）までご連絡下さい。

宇野 沢眞 一様	平野 慶三 様	加瀬 竹敏 様	林 清彦 様	小林 博文 様	加瀬 文夫 様	遠藤 洸志 様	林 秀次郎 様	林 一英 様	加瀬 政秀 様	林 雄吉 様
伊藤 恵一 様	加瀬 富雄 様	大橋 文世 様	林 彰 様	井橋 芳男 様	平野 政喜 様	林 宏 様	鈴木 幸一 様	伊藤 一二 様	伊藤 功 様	佐藤 眞一 様
佐伯 洋子 様	石井 勝也 様	大湊 忠文 様	玉田 昌代 様	佐藤 眞治 様	大根 茂樹 様	塙 文夫 様	亀田 京子 様	林 秀和 様	小林 豊 様	林 義光 様

（平成23年10月中旬～11月下旬受付分）

社会福祉協議会賛助会員

お知らせ

旭市社会福祉協議会職員を募集します

職 種	募集人員	応募資格	応募期限	身分	採用予定日
介護支援専門員	1名	資格を有し、県へ登録済みの方	1月31日(火)	職員	4月1日
訪問介護員 (登録ヘルパー)	若干名	ヘルパー2級以上の方	随時	パート	随時

〈共通事項〉

年齢要件／55歳位まで、普通免許取得者
勤務場所／本所（旭市横根3520番地）
提出書類／履歴書（写真添付）、資格証の写し
※試験日は後日お知らせいたします。

申込み先／〒289-2712

旭市横根3520番地（飯岡福祉センター）
社会福祉法人旭市社会福祉協議会
☎ 57-5577

※待遇等詳しくは、お問い合わせください。

佐津間自治会様
旭民舞会様
つくしの会様
カラオケ愛好一心会様
秀花歌謡教室様
木内 豊一様
歌謡旭クラブ様
愛妻会様
飯岡第2簡保旅行会事務局 葛馬武様
飯岡第2簡保旅行会事務局 木内紀雄様
アメリカンフラワー講座様
かあちゃん市組合様
日華化学株様
山口のり子様
JAM東京千葉青年協議会様
海上歌謡虹の会様

11月末までに次の方々から旭市社会福祉協議会へご寄付をいただきました。心温まる浄財は、社会福祉事業へ有効に使わせていただきます。
ありがとうございました。

ご寄付ありがとうございました

心配ごと相談所

旭市社会福祉協議会では本所・支所で家庭内の心配ごとなどの相談を受け付けています。

相談は無料です。（当日が祝日の場合は、翌日）

場 所	期 日	時 間
飯岡本所 (☎57-5577)	第1水曜日	午前10時 ～午後3時
旭支所 (☎64-2570)	第2水曜日	
海上支所 (☎55-5517)	第3水曜日	
干潟支所 (☎68-1079)	第4水曜日	